

インターナショナル・オリーブ・カウンシル(IOC)、
日本における IOC 認定パネル設立に向けてサポート活動を展開

- 12月12日(火)～20日(水) 香川県小豆島と東京でトレーニングを実施
- 香川県は日本初 IOC 認定パネル取得に向けて最終段階に

オリーブに関する国際協定に基づく政府間機関であるインターナショナル・オリーブ・カウンシル(International Olive Council / 以下 IOC、本部:スペイン、マドリッド)は、IOC 認定オリーブオイル官能評価パネル(以下 IOC 認定パネル)の設立を希望する行政、業界団体を支援するために、12月に香川県小豆島及び東京においてオリーブオイル官能評価パネルのトレーニングを実施しました。

今回のトレーニングは、IOC からオリーブオイル官能評価の専門家が派遣され、香川県農業試験場小豆オリーブ研究所と一般社団法人 日本植物油協会に対して実施されました。また、IOC から副事務総長のハイメ・リージョ(Jaime Lillo)とプロモーション責任者のエンデル・グンドゥス(Ender Gunduz)が来日し、トレーニング参加者及び行政や関係者への挨拶、業界関係団体や関係省庁との会合を持ちます。

「IOC では、これまでも日本向けにキャンペーンを展開し、消費者や業界関係者、行政に対し、オリーブオイルの楽しみ方や品質の見極め方、品質規格への理解を訴求してきました。今回のトレーニングや会合により、日本のオリーブオイルへの理解が国際標準に見合うようになってきていることを諸外国に示すことになり、国産のオリーブオイルの品質に対する国際的信頼度向上や、日本がオリーブオイルを輸入する際の適正価格判断の一助となることを確信しています。」(ハイメ・リージョ)

香川県は、国内最大のオリーブ産地で、平成 26 年より独自のオリーブオイル品質表示制度を設けており、オイルの風味を人の鼻や舌で調べる「官能評価」ができる体制を国内で初めて整えています。今回のトレーニングでは、さらに国際基準である IOC 認定パネル取得のための最終段階として、より実践的な訓練内容となっています。早ければ来年年明けに受験し、合格すれば日本初の IOC 認定パネルが誕生することになります。IOC 国際規格は全世界のオリーブオイル流通量の9割以上に適用されており、香川県が取得することにより、香川県産オリーブオイルの国際的な品質価値を訴求できるようになります。

また東京では、今年 5 月に日本の主要植物油メーカー21 社で組織される日本植物油協会(東京都中央区)が、IOC の品質管理プログラムに参加することが決まり、日本でも国際貿易規格に準じたオリーブオイル流通にむけての取り組みが始まりました。こうすることにより、IOC 参加国からの輸入が大部分を占めているにもかかわらず、オリーブオイルの品質基準がない日本市場に

において、国際標準の格付けに準じた製品が流通していくことを目指しています。

オリーブオイルの官能評価は、化学検査とともにオリーブオイルの格付けには必ず必要となるもので、パネルリーダーのもと、結果にばらつきがないよう訓練・選抜されたテイスター8~12名で行い、統計処理により結果を出すよう定められています。この格付けによりオリーブオイルの価格に影響が出るため、貿易規格としての役割も担っています。そのため、IOC では、公平性を保つため、IOC 認定パネルは公的機関および公的機関から指定された団体等のみに限定されています。

なお、IOC の参加国でない中国やブラジル、オーストラリア、米国等でも同様の動きがあり、IOCは適宜、支援活動を展開しています。

IOC が日本において活動した内容は下記の通りです。

記

【香川県小豆島スケジュール】

◆トレーニング

日程： 2017 年 12 月 12 日(火)~15 日(金) 各日午前 9 時~午後 5 時

概要： 香川県産オリーブオイルを対象として官能評価を行っている香川県パネルに対し、国内では発生がないネガティブ属性の再確認を行うとともに、実際の IOC パネル認定テストに備えた実践的訓練を実施しました

講師： ウエンセスラオ・モレダ・マルティノ博士

スペイン科学研究高等会議(CSIC: Consejo Superior de Investigaciones Científicas)

名誉科学者

場所： 小豆島オリーブ公園コンベンションホール 他

◆香川県庁訪問

日時： 12 月 15 日午前

概要： ハイメ・リージョ IOC 副事務総長来日に伴う香川県副知事表敬訪問。

◆香川県小豆島トレーニング記者ブリーフィング

日時： 12 月 15 日 午後1時半~

概要： トレーニング最終日に IOC 代表者から、プレスに向けたブリーフィングを実施。
日本初の IOC 認定パネル設立に向けての取組みを紹介。

場所： 小豆島オリーブ公園コンベンションホール

【東京スケジュール】

◆トレーニング

日程： 2017 年 12 月 17 日(日)~20(水) 各日午前 9 時~午後 5 時

概要： 幅広いメンバーのニーズに応えられるよう設定した初級~中級の訓練コースを実施。官能試験の必要性や方法論、テイスターやパネルの役割などを包括的におさえつつ、ポジティブ属性、ネガティブ属性、オリーブオイルの特性の強度(intensity)の違いなどをトレーニング。

講師： エフド・ソリアーノ氏

オリーブオイル・クオリティ・コンサルタント



(香川県小豆島トレーニングの様子)



(東京トレーニングの様子)

● **インターナショナル・オリーブ・カウンシル(International Olive Council)とは**

IOC は、スペイン・マドリードに本部をおく、オリーブオイルとテーブルオリーブの国際協定に基づく政府間機関です。1959 年に、オリーブ栽培と生産の保護と開発のため国際連合によって、国際オリーブオイル協会(International Olive Oil Council/IOOC)として設立。その後、2006 年にインターナショナル・オリーブ・カウンシル(IOC)に改名されました。

IOC は、オリーブ業界における唯一の世界的な機関として、加盟国(世界のオリーブ生産量の 97%を占める生産国を含む)と協議をしながら、オリーブ業界発展のための政策作りを行っています。また、持続可能なオリーブ栽培の発展にも貢献しています。

お問い合わせ先

Believe in Olive Oil 事務局 担当:ロゼル、根本、佐藤

エム・エム・エス・コミュニケーションズ株式会社 MSL 内

Tel: 03-5719-8931 / Fax: 03-5719-8919 Mail: olive@msl-japan.com